

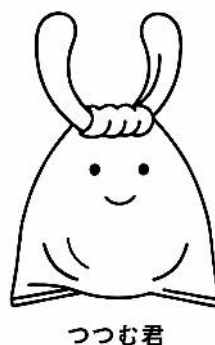


第56回 日本包装管理士会 定時総会 議案書

2022年6月23日(木) 15時～16時30分
集会中止、個別審議・郵便投票による議決権行使
Web配信会場：「アットビジネスセンター池袋駅前 別館」

1. 議案

- 第1号議案 2021年度事業活動報告及び収支決算報告承認の件
- 第2号議案 2021年度監査報告
- 第3号議案 2022年度事業活動計画(案)及び収支予算(案)審議の件
- 第4号議案 2022・2023年度役員



日本包装管理士会

ご挨拶

新型コロナウイルスの感染防止は今年で3年目に入り、ワクチン接種も3回済み、テレワークにも慣れてきた人も多いことと思います。一方で、通勤客の減少から今春のダイヤ改正で電車の本数が減り、車内の混雑が増えてきたというところも多いのではないのでしょうか。

まん延防止等重点措置も全国的に解除され、ゴールデンウィークではマスクをしながらとはいえ外出する人も増えて、国内的には少し明るい兆しが見えるように思いますが、ロシアによるウクライナ侵攻や円安による物価の上昇が日本経済に悪い影響を与えなければと思います。

昨年の活動状況を見ますと、理事会はZOOMを利用とリアル開催と両方で行われている様子ですが、見学会やセミナーは以前のような開催頻度には戻っていないようです。支部単位で行っていた新会員歓迎セミナーを、昨年はZOOMを使用して東京から全国一斉に配信して行いました。WEBでの開催では参加する人の場所を選ばないことから全国均質の会員サービスの提供をできるというメリットを今後も活用していきたいと思います。また、会員数がピーク時の半減以下になっている中でIPP活動の在り方や以前からのままで運用していたHPの改善を検討していきたいと考えています。

新型コロナウイルスの変異株がオミクロン株の後も新たに拡散されていることや全国の会員の参加の利便性を考慮して、本年の総会は事前に登録した会員は視聴して質問できるWEB配信と会場で参加したい会員向けにリアル参加(集会形式)とのハイブリットで実施します。会員の意思の確認は、返信ハガキ、メール等の通信手段を使って行うことは従前どおりと致しました。これにより遠方の会員も総会にオンラインでライブ参加できるようになりますし、希望する人は会場で参加して直に意見交換することも可能としました。

今年も皆様のご理解とご協力をお願いして、総会の挨拶と致します。

令和4年6月吉日

日本包装管理士会会長 山田孝志

第1号議案 その1 【2021年度事業活動報告】

1. 会員動静2022年4月30日現在

(1) 正会員

支 部 名	2022. 4. 30 会員数 *1)	56期仮会員 *2)	会員数増減
北 海 道	28		+ 2
東 北	51		- 1
関 東	241	4	- 9
中 部	140	6	- 7
関 西	100		± 0
西 日 本	30		- 2
合 計	590	10	- 17

*1)今年度会費納入済み会員数 *2)期末登録済み仮会員数

2. 総 会

(1)実施日時 : 2021年6月23日(水) 15時 開会

(2)場 所 : 集会方式を中止し個別審議・郵便投票、Webによる説明会開催

3. 理 事 会

年間4回の開催を予定したが、昨年度後半から始めた新型コロナウイルス感染症対応としてのWeb理事
会が定着し、Webを3回、集会を1回の予定で計画した。結果は定例・臨時合わせて8回開催した。

回	実施年月日	場 所	主な内容
1	2021. 5. 22(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 第55回総会議案書(案)内容の検討 2. 理事業務分担の件 3. ippニュース131号について 4. 総会Web配信会場と当日業務
2	2021. 6. 7(月)	e-mailによる審議と評決	1. 総会議案書修正に関する件
3	2021. 7. 17(土) 15:00~17:00	Web会議	1. 各種委員会活動の設置について 2. 56期包装管理士合格者への働きかけ
4	2021. 8. 28(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 委員会活動について 2. 56期包装管理士合格者勧誘について 3. 収支報告 4. その他(2件)
5	2021. 11. 20(土) 10:00~12:00	アットビジネスセンター 池袋別館4会議室 Web併用会議	1. 10大ニュース選考／選考委員会併催 2. 収支状況報告 3. ニュース編集委員会報告
6	2022. 2. 19(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 編集委員会報告とIPPラウンジ設置の提案 2. 2022東京パック第1回4団体会議報告 3. 収支状況報告 4. その他(6件)
7	2022. 3. 2(水) 19:30~21:00	Web会議	1. 2021年度振り返りと2022年度に向けて 2. 2022東京パック第2回4団体会議 3. 第56回定時総会日程等 4. その他(2件)
8	2022. 4. 9(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 総会に向けて 2. その他

4. 2021年度事業活動報告

重点課題6項目を踏まえ、活動した(進捗状況は下表)。

1. 会員の自己研鑽による実力アップを図るための支部活動を支援する
2. ホームページの充実を継続して推進する
3. 包装界の動向を把握し、会員の指針となるように情報を発信する
4. 関連機関との連携活動の推進
5. 新型コロナウイルス(COVID-19)後の活動と組織の在り方
6. 事務局員不在を考慮した理事分担作業とテレワーク活動の検討

事業	2021年度事業活動計画	2021年度事業活動／経過報告
総務 (事務局)	1. 会員メールアドレス情報の活用。 2. 包装管理士合格者上司へのIPP活動PRを継続し、新合格者の入会促進を図る。 3. 各支部長、事務局長に定期的に支部の会費納入状況を報告し、未納者への働きかけによる会費徴収の改善を図る。 4. (公社)日本包装技術協会(JPI)およびJPI関連包装4団体との交流を推進する。 5. Web会議システムを導入し、支部事業活動を支援する。 6. 活動目的達成のための各種委員会(役員以外も参加)の活動を支援する。 「包装界10大ニュース選定委員会」 「東京パック委員会」などを設置する。	1. 会員メールアドレス取得と活用を継続した。 2. JPI包装管理士講座事務局に要請して、上司宛講座結果通知の文書に入会勧誘文書を同封していただいた。 3. 会費入金状況の把握と未入金者への督促を追加実施した。 4-1. 東京パック2022の集中企画展示およびセミナーに包装4団体共で会議を始めた。 4-2. IPP・HPやJPI包装技術誌に支部行事紹介原稿を掲載し会員への告知に協力。 5. ZOOMを年間契約し、Web会議およびセミナー実施の環境を整えた 6. 「10大ニュース選定委員会」と「ニュース編集委員会」を設置・活動し成果を得た。
財務	1. 支出の使途を工夫するとともに、タイムリーに収支の把握と検討を行う。 2. 2019年度の支出項目再点検結果の財務担当理事報告を承認し、以下の2件を2021年度も継続改善課題とした。 1)在宅ワークに適した環境整備と報酬系 2)IPP携帯電話導入(固定電話廃止)	1. 理事会において直近の収支状況を報告し計画通り事業が遂行され、支出が行われたことを確認した。 2. 2019年度からの継続改善課題2件を確認。 1)在宅ワークに適した環境整備と報酬系 ニュース発行準備の業務集中(編集作業)は編集作業費として支払することを確認した。」全体の体系については継続検討。 2)IPP携帯電話導入(固定電話廃止) 固定電話は事務所住所と連携との考えから存続させることとした。 3. 2021年度より出納業務のWチェックについて、新たに財務担当の確認を開始した。
広報	1. 本部・各支部の情報によりタイムリーで充実したHPとする為に見直しを実施する。 2. 見学会・研究会等の案内をJPI包装技術誌に継続掲載し、内容の充実を図る。 3. 「ippニュース」を発行する。 発行回数・発行日は、新型コロナウイルス感染の終息状況に応じて決定する。 巻頭の記事や年頭の会長挨拶はippニュース毎号の校正終了時点でホームページに掲載し時機を失せず告知する。 ippニュースの発行には、支部の皆様のご協力が不可欠となります。 コロナ禍では、イベント中止が多くなりますがホットな情報や知見収集をしていただき、機関誌発行に協力をお願いします。 4. 「10大ニュース」の公募・選定結果をタイムリーにホームページで告知する。	1. ホームページからのメール発信トラブルを切っ掛けとしてホームページの見直しを行ない、URLのhttps化などの更新を行った。 2. コロナウイルス感染対応として、支部事業の多くが中止され、JPI「包装技術」誌への掲載は減少した。 3. 「ippニュース」を年2回発行した。 夏号は電子発行、冬号は印刷発行で実施。 発行後大きな問題は生じていない。 ホームページへ時機を失せず掲載した。 4. 「10大ニュース」選定は、候補提案にとどまらず、初めて会員の参加する「選考委員会」が最終選考までを行った。選定結果は年初にIPP・HPへの掲載とippニュースにて告知。 JPI包装技術誌や日報(株)包装タイムス紙に掲載してもらえた。 TOKYO PACK2022での活用準備で英訳の作業を進めた。

5. 2021年「包装界・10大ニュース」の選定

【日本包装管理士会選定「2021包装界・10大ニュース」】 選定された項目(説明文省略)

1. ハイバリア性紙製包材開発を強化、環境負荷低減に一役貢献
2. コロナ禍での通販市場拡大と通販梱包箱に易開封機能付与の流れ
3. プラスチック資源循環促進法成立、2022年に施行。資源循環の動きが加速。
4. 原油価格高騰による原料高騰、包装資材価格に影響
5. SDGsの認知度が急速に高まる。
6. 抗菌・抗ウイルス製品の販売増加
7. プラスチックリサイクル原料の採用事例拡大へ
8. 学校給食にストローレス牛乳紙パック採用拡大で脱プラ加速
9. フルオープン缶で自然発泡する缶ビール
10. コロナ禍でTOKYO PACK 2021、暮らしの包装商品展2021、初の同年開催

6. その他の活動

＊新型コロナウイルス(COVID-19)の感染が収束せず、包装管理士会でも計画行事や交流の中止が多発したが、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた活動への転換点となる年であった。

1) 支部との交流

・IPPコミュニティ掲載 JPI「包装技術」誌に支部活動情報などを掲載

2) JPI及び包装関連団体との交流

・他団体総会・交流会への会長出席などの交流は、総会方式変更など先方事情により中止された。

・TOKYO PACK 2022 四団体企画会議に参加 /2021年12月 6日

①メインテーマ : 『新時代パッケージ ここに集う! - 未来のために機能進化と使命 - 』

②IPP担当テーマ : 感染症対策、環境問題との両立、プラスチックの有効活用

＊・TOKYO PACK 2022 会期 : 2022年10月12日(水)～14日(金) の3日間

＊・TOKYO PACK 2022 会場 : 東京ビッグサイト 東1～ホールおよび東6ホール

3) 本部主催セミナーおよび委員会活動

・ウィズコロナ、アフターコロナにおける活動の第一歩として、「新包装管理士歓迎セミナー」および「10大ニュース選定委員会」「ippニュース編集委員会」の委員会活動を実施した。

・56期包装管理士歓迎セミナー

①日時 : 2021年11月10日(水) 13:30～15:30

②場所 : Web(ZOOM使用)リモートセミナー 送信会場:アットビジネスセンター池袋別館

③受講者数 : 64名 (受講した56期管理士を仮会員として仮登録)

④講演内容

13時30分～ 開催挨拶 山田会長よりお祝いと歓迎のご挨拶

13時40分～ 「エコフレンドリーな包みのテクノロジー」 荒井拓哉理事

14時30分～ 「TOKYO PACK 2021」視察報告 古平副会長

・「2021年 包装界・10大ニュース 選定委員会」活動 (一般会員から委員を公募)

①ニュース公募に対して10名の会員から38件の提案があった。

②理事選考委員と会員からの選考委員応募の3名が選考を行った。

・「ipp ニュース 編集委員会」活動 (一般会員から委員を公募)

①一般会員からの応募委員は3名が広報担当理事と共に編集会議に出席し討議した。

②ニュース企画会議を開催し、会員相互の意見交換会「IPPラウンジ」設置を提案した。

IPPラウンジとはIPP内で提供される特別な待合室。少人数で会員同士が語りあえる場。

新企画(IPPラウンジ)立上げのプロセスはホームページに公開し、事前段階で注目を集めるプロセスエコノミーの手法を試行した。

・「IPPラウンジ」トライアルとして、4月1日施行の「プラ新法勉強会」を3月17日(木)と3月26日(土)の2回同じ内容で開催し、第1回に6名、第2回に4名の参加があった。

参加者で法令ならびに省庁発行の解説書を読み込み、基礎的知識を身につけた。

2021年度収支報告書
(2021年5月1日～2022年4月31日)

<収入の部>

<支出の部>

単位:円

科目		予算額	決算金額	大分類	小分類	予算額	決算金額
	北海道	208,000	224,000	支部活動費	北海道	145,600	145,600
	東北	416,000	408,000		東北	291,200	291,200
	関東	1,992,000	1,928,000		関東	1,394,400	1,394,400
	中部	1,176,000	1,120,000		中部	823,200	784,000
	関西	800,000	800,000		関西	560,000	560,000
	西日本	256,000	240,000		西日本	179,200	179,200
	小計	4,848,000	4,720,000			小 計	3,393,600
関東支部分担金		264,110	264,110	広 報	ippニュース発行 注4	300,000	289,209
					理事活動費	10,000	10,000
					包装技術誌	0	0
					小 計	310,000	299,209
東京パック準備金繰越		50,000	0	国際交流	東京パック	50,000	50,000
					理事活動費	10,000	0
					国際交流調査費	10,000	0
					小 計	70,000	50,000
				財 務	会費徴収	80,000	57,472
					出納経理	220,000	145,100
					小 計	300,000	202,572
情報システム更新準備金繰越		50,000	50,000	情 報	保守その他	50,000	42,774
					HP設計維持費	20,000	51,684
					情報システム更新	50,000	75,000
					小 計	120,000	169,458
				事 務 局	会員管理	200,000	97,966
					総会	200,000	112,101
					交通費補助・会場費	100,000	0
					渉外交流	30,000	0
					役員渉外	30,000	0
その他収入	入会金	0	0		事務委託手数料	528,220	528,220
	預金利息	0	9		事務局費	250,000	254,239
					庶務費	50,000	23,988
小計		0	9		小 計	1,388,220	1,016,514
小 計		5,212,110	5,034,119		小 計		5,581,820
				予 備 費		156,645	0
				合計		5,738,465	5,092,153
前期繰越金		526,355	526,355	次期繰越金		0	468,321
合 計		5,738,465	5,560,474	合 計		5,738,465	5,560,474
預かり金	2022年度会費	0	16,000	預かり金	2022年度会費	0	16,000

<<事業基金積立>>

単位:円

基金前期繰越金	5,747,496
基金取り崩し	0
利息	94
次期繰越金	5,747,590
情報システム準備金	75,000
東京パック準備金	50,000
預り金繰越	16,000

貸 借 対 照 表
(2022年4月30日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	609,321	事業基金積立	5,747,590
		情報システム準備金	75,000
		東京パック準備金	50,000
		預かり金	16,000
定期預金	5,747,590	次期繰越金	468,321
合 計	6,356,911	合 計	6,356,911

現金・預金内訳

・みずほ銀行 普通預金	577,219 円
・郵便振替口座	16,000 円 (預かり金)
・現金	16,102 円
合計	609,321

定期預金内訳

・三菱UFJ 銀行 定期預金	1,491,778 円
・みずほ銀行 定期預金	4,255,812 円
合計	5,747,590

監査報告書

日本包装管理士会

会長 山田 孝志 殿

2022年5月25日に日本包装技術協会B会議室において監事2名で会計監査を実施しました。対面監査後に再々提出の出納帳と追加説明を検証し、再提出された収支決算報告書と貸借対照表が妥当であることを確認しました。

また、コロナ禍において、①Web配信の「新包装管理士歓迎セミナー」、②公募委員(3名)が参画する「十大ニュース選定委員会」と「ippニュース編集委員会」が行われ、本部から直接に会員や将来会員へアプローチがされるなど、業務が概ね適切に行われていることを確認しました。

なお、監査での対処を要する事項は別途、理事会で報告いたします。

2022年6月7日

監事 福野 壽史

監事 荒牧 哲

第3号議案 その1 2022年度事業活動計画(案)

<重点課題>

1. 会員の自己研鑽をフォローするための活動を行う
2. ホームページの充実を継続して推進する
3. 包装界の動向を把握し、会員の指針となるように情報を発信する
4. 新IPPの在り方の検討…支部の再編、予算配分と年会費の見直し
5. 関連機関との連携活動の推進

<2022年度事業活動計画(案)>

事 業	事 業 活 動 の 内 容
総 務 (事務局)	1. 会員メールアドレス情報の活用。 2. 包装管理士合格者上司へIPP活動PRを継続し、新合格者の入会促進を図る。 3. 各支部長、事務局長に定期的に支部の会費納入状況を報告し、未納者への働きかけによる会費徴収の改善を図る。 4. (公社)日本包装技術協会(JPI)及びJPI関連包装4団体との交流を推進する。 東京パック開催には、本部に東京パック委員会を置き積極的に協力する。 5. 活動目的達成のための各種委員会(役員以外も参加)の活動を支援する。 「包装界10大ニュース選定委員会」「東京パック委員会」などを設置する。
財 務	1. 支出の使途を工夫するとともに、タイムリーに収支の把握と検討を行う。 2. 出納記録のWチェック管理を継続して行う。 3. 在宅ワーク(環境整備と作業費)の全体体系について、2021年度に 続き継続検討する。
広 報	1. 会員の自己研鑽や相互連携の充実を図るため、WEB展開の多様化について 検討する。 2. 見学会・研究会等の案内をJPI包装技術誌に継続掲載し、内容の充実を図る。 3. ippニュースの定期発行は、年2回行う。 内1回は最低限、紙印刷による郵送手段にて行う。 会員への情報提供を更に充実させるため、勉強会で用いた資料などを、 ippニュースの不定期発行またはアーカイブとしてのWEB媒体を検討する。 4. 「10大ニュース」の公募・選定結果をタイムリーにホームページで告知する。

<理事会 開催予定>

1. 理事会:原則として下記予定表の通り開催する。 必要に応じて臨時会議を開催する。
2. 日時及び開催場所は新型コロナウイルスの影響、会場の都合などで変更する場合がある。

回	開催月日	場所	主な内容／別に収支状況確認は毎回実施
1	2022.5.21.(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	1. 2022年度収支決算報告・2022年度予算確認 2. 定時総会対応(議案書の確認) 3. 2022年度事業活動計画の確認 4. その他
2	2022.7.23(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	1. 各種委員会設置について 2. その他
3	2022.9.10(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	1. 57期包装管理士講座修了者対応 2. その他
4	2022.11.26(土) 10:00~12:00	アットビジネスセンター 池袋別館 Web併用	1. 10大ニュース選定について 2. 予算進捗状況のチェック 3. その他
5	2023.2.18(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	◎集中討議会 第1回 1. 各事業活動の現況確認 2. その他
6	2023.4.8(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	◎集中討議会 1. 定時総会対策・決算予測 2. 新年度事業活動計画の検討 3. 新年度予算案の検討 4. その他

第3号議案 その2 2022年度収支予算(案)

2022年度収支予算(案)

(2022年5月1日～2023年4月30日)

<収入の部>

<支出の部>

単位:円

科目	予算金額	大分類	小分類	予算金額
年会費 注1)	北海道	支部活動費 注2)	北海道	156,800
	東北		東北	285,600
	関東		関東	1,349,600
	中部		中部	784,000
	関西		関西	560,000
	西日本		西日本	168,000
小計	4,720,000		小計	3,304,000
東京パック準備金繰越	50,000	広報	ippニュース発行 注4)	300,000
			包装技術誌	0
			理事活動費	10,000
			小計	310,000
情報システム更新準備金繰越	75,000	国際交流	東京パック	100,000
			国際交流調査費	10,000
			理事活動費	10,000
			小計	120,000
		情報	保守その他	50,000
			HP設計維持費	20,000
			情報システム更新	100,000
			理事活動費	10,000
			小計	180,000
		財務	会費徴収	80,000
			出納経理	200,000
			理事活動費	10,000
			小計	290,000
その他収入	入会金 注3)	事務局	会員管理	150,000
			総会	150,000
			交通費補助・会場費	35,000
			渉外交流	30,000
			役員渉外	30,000
			事務委託手数料	528,220
			事務局費	250,000
			庶務費	50,000
			小計	1,223,220
			小計	5,427,220
前期繰越金	468,321	予備費		792,014
合計	6,219,234	合計		6,219,234

注1. 会費収入予算は年度末(2022年4月30日現在)会費納入済み会員数で立案(今期継続前提)

注2. 支部活動費は会費の70%。

注3. 新規入会金は現在免除中です。

注4. 支出予算・広報・ippニュース発行は、夏季発行予定号(従来は8月発行)は2021年度と同様にWeb発行、冬季発行予定号(従来は1月末発行)1回を印刷冊子として発行で予算化しています。

【参考】

2022・2023年度 日本包装管理士会 役員候補

役 職	会員番号	氏 名	支部	勤務先・所属		
会 長	35065	山田孝志	関東	ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン(株) 品質保証グループ		
副会長	25079	古平 篤	関東	新宿区 高田馬場シニア活動館		
支部長	47016	會田 慶太	北海道	レンゴー(株) 恵庭工場 営業部		
	23095	鈴木雅彦	東北	(株)東北ウエノ		
	25079	古平 篤	関東	新宿区 高田馬場シニア活動館		
	24173	北原 圭介	中部	(株)サンライト		
	23260	桃川公一	関西			
	30188	藤生廣来	西日本			
理 事	5004	井上伸也	関東	井上包装管理士事務所		
	12006	荒井拓哉	関東			
	23131	道明 誠	関東			
	31054	須藤貴行	関東	(株)インターナショナル三興 営業部		
監 事	16146	福野壽史	関東	グリーン商会		
	23038	荒牧 哲	関東	自営(不動産賃貸業)		

事務局 2022年5月1日現在

事務局員 (会計担当)	- 平野 洋子	—	日本包装管理士会 事務局	03-3543-9250 ipp@pk9.so-net.ne.jp	03-3543-8970
----------------	---------	---	--------------	--------------------------------------	--------------

2022年度 日本包装管理士会 機構組織図

